

研究主題

創造的な資質・能力の育成

～日々の授業改善を通して～



久原小の研究

1 研究構想

学校教育目標

「健康な子」「考える子」「やさしい子」「礼儀正しい子」

教師の指導の実態

- ・授業力を高めたいという思いをもつ教師集団であるが、より一層、授業改善を図る必要がある。
- ・互いの教科の専門性を生かした研修の充実を図る必要がある。

大田区教育施策

おおた教育ビジョン
基本方針2 個別目標4
(1) 新たな授業モデルの構築と深い学びに向けた教師の授業力の向上

児童の実態

- ・地域とのかかわりが深く、多様な学びの機会がある。
- ・保護者は、学校の教育活動に協力的で、豊かな愛情の中で育てられている。

研究主題

『創造的な資質・能力の育成 ～日々の授業改善を通して～』

研究の経緯

これまで、

令和5・6年度に、教科「おおたの未来づくり」研究実践校として、「創造的な資質・能力」の育成に向け、生活科、総合的な学習の時間を中心に取り組んだ。

しかし、

学びを十分に生かし切れていないことから、他の各教科等においても育成する視点を明確にし、継続的かつ関連性を図りながら授業改善する必要性を感じた。

そこで、

令和7・8年度大田区教育委員会教育研究推進校として、様々な各教科等により、日々の授業改善を通して、「創造的な資質・能力」の育成することとした。

研究の内容

まずは、「創造的な資質・能力の育成」とは何か明確にした。⇒ (A表)

育成する3つの観点を8項目に分け、各教科等で重点的に取り組んだ。

端的に言うならば

次に、「創造的な資質・能力の育成の内容」を各教科等・学年ごとに整理にした。⇒ (B表)

本研究で取り組む各教科等は、6教科（国語・社会・算数・理科・図工・体育）とした。
各分科会は、5名程で構成し、リーダーを中心に協議を重ねた。

取り組む上での留意点

さらに、分科会ごとに、育てたい姿を明確にし、工夫した手だてを考え実践した。⇒ (C表)

各教科等を関連付けながら児童の学びを深めた。

学びを深める「つながる」「ひろがる」の取組

最後に、「他教科で生かしていますか。」などの児童の意識調査を行った。⇒ (D表)

学びの集大成である「久原フェスタ」を評価の場として位置付けた。

研究の評価と改善

端的に言うならば、本校では、

「創造的な資質・能力」を、予測困難な時代に応じた「未来を創り出す力」とした。

取り組む上での留意点

各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる授業を前提とし、
このことを踏まえた具体的な指導内容を、**(B表)**として取りまとめた。

学びを深める「つながる」「ひろがる」の取組

幅広い学習や生活場面で活用できる力を育むために、各教科等で学んだことを関連付けている児童の姿を価値付け、賞賛することを学校全体で行ってきた。

「つながる」…… 日々の授業の中で、

各教科等を関連付けられた時に
イラストを提示して意識化を図る。

※ 6教科分科会で、育てたい姿を明らかにし、実践している。

(C表) ①授業で育てたい姿 (②以外)

②生活・総合・未来づくりやフェスタで育てたい姿



「ひろがる」…… 日頃の生活場面で、

各教科等を関連付けられた時に
イラストを提示して意識化を図る。

※ 6教科分科会で、育てたい姿を明らかにし、実践している。

(C表) ③生活場面で育てたい姿



研究の評価と改善

本校では、「教科で学んだことを他教科で生かしているか」という児童の意識調査を評価指標として設定し、その結果 **(D表)** を分析して、研究の成果と課題・今後の取組を整理した。

さらに、学びの集大成である「久原フェスタ」における児童の姿を、保護者や地域による学校評価の機会として位置付け、アンケートや学校運営協議会での意見を基に、年間の教育活動における成果と課題を把握し、今後の教育活動の改善につなげている。

久原フェスタとは、

生活科・総合的な学習の時間・おおたの未来づくり科を中心とした学習発表会（例年2月実施）

○双方向型の学びの場として、参観者との質問や感想等の交流が活発に行われ、児童が学びを自分事として捉えることができる。

○全ての教科で学んだ内容を生かし、クイズ形式や体験コーナーの設置、劇化など、児童が主体的に工夫した多様な発表を行っている。

※ 6教科分科会で、育てたい姿を明らかにし実践している。

(C表) ②生活・総合・未来づくりやフェスタで育てたい姿



2 創造的な資質・能力の育成の整理

創造的な資質・能力（A表）

創造的な資質・能力		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①問題の発見・解決に必要な情報を収集・活用するための知識及び技能を身に付ける。【国語】 ②分かったことや考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言語や情報技術に関する知識及び技能を習得する。【国語】	③目標と現状、予測と結果、異なる意見などを比較し、問題を発見する力を身に付ける。【社会】 ④既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付ける。【算数】 ⑤問題を発見し、解決方法を考え、結果を予測しながら試行錯誤して解決方法の実行を繰り返し、問題解決を図る力を身に付ける。【理科】	⑥実社会で活躍する人などとの対話を大切に、問題の発見・解決に資する情報収集に進んで関わろうとする態度を身に付ける。【生活・総合・未来】 ⑦問題の発見や解決に向かって、自分や他者のよさを生かして協働しながら、主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。【生活・総合・未来】 ⑧学習を振り返って学習状況を把握し、次の問題発見・解決につなげていこうとする態度を養う。【書写・音楽・図工・家庭・体育・外国語】
1 しらべて つかう (情報の収集・活用) 	3 くらべて みつける (比較・問題発見) 	6 よくきいて つたえよう (対話・インタビュー) 
2 わかりやすく つたえる (表現・発信) 	4 よいほうほうを かんがえる (解決策を考える) 	7 みんなで すずめる (協働・チームワーク) 
「未来を創り出す8つの力」 カード化して授業で活用		
	5 どうすすめるかを かんがえる (問題解決のサイクル) はっけん → 考える → ためす → ふりかえる 	8 ふりかえって いかす (振り返り・改善) 